

新入社員成長の鍵とは - 「4大考動力」強化のご提案 -

年が明け、新入社員研修の具体的検討に入る企業も多くなるでしょう。言うまでもなく、入社後に成長し、現場で活躍し、自社に定着してもらうためにも、新入社員研修の内容は非常に重要です。

しかし、その新入社員研修、毎年アップデートをしているのでしょうか。世代別の特徴や、コロナの影響（例えば、授業のオンライン化、アルバイト機会の喪失等）を考慮した内容、運営方法となっているのでしょうか。

これを怠っている場合、入社して1年、2年と経っても、期待した成長を遂げることは難しいかもしれません。例えば、以下の例です。

| 近年入社した社員の行動傾向 |
|---|
| 自分で考えず、すぐに正解を求める。 例：「これはどうしたらいいですか？」 ⇒本来は、「私はこのように思うのですが、いかがでしょうか？」 |
| 会議で発言がなく、聞いても「大丈夫です」（自分の意見がない・言わない）。 |
| 仕事がかうまうまかかなかった原因を考えず、同じ失敗を繰り返す。 |
| 自分以外に興味を持つ習慣が乏しく、配慮のある行動を取れない。 |
| 失敗する（叱られる）ことを恐れ、すぐに行動できない。 |
| できない理由ばかりを考え、目標未達でもすぐに諦める。 |
| 自分の苦手なことからすぐに目を背け、成長機会を逸する。 |
| 「この仕事は自分に合っていない」と、退職してしまう。 |

いかがでしょうか。このような状態では、先輩、上司も指導方法に困惑してしまい、現場で改善されることも容易ではないでしょう。

では、新入社員研修をどのようにアップデートしたら良いのでしょうか。

それは、基本的な考え方、マナーの修得以外に、以下の「4大考動力」を強化する内容、運営方法とすることです。

| 新入社員成長の鍵「4大考動力」 |
|------------------------|
| ①考える力 ②初動力 ③やりきる力 ④挑戦力 |

言うまでもなく、新入達に成長欲求はあります。高い成果を出そうと意気込んでいるでしょう。しかし、そのための行動ポイントを明確に理解できていないのです。近年、真面目で素直な方が多いだけに、4大考動力の教育効果は非常に大きなものになります。

既に、弊社では、この「4大考動力」の強化を取り入れた新人研修を数多く実施しています。詳しい内容や運営方法等、ご興味のある方は、下記リンク、または、QRコードよりお問い合わせください。

> お問い合わせはこちら

